

2020年12月23日
 三井ホーム株式会社


全館空調システム「スマートブリーズ・エース」が 2020年度「省エネ大賞」受賞

～従来比^{※1}約50%の省エネ化を実現～



三井ホーム株式会社（本社：東京都新宿区、社長：池田 明）及び株式会社デンソーエアクール（本社：長野県安曇野市、社長：西山 宏）は、2020年度「省エネ大賞」（主催：一般財団法人省エネルギーセンター、後援：経済産業省）の製品・ビジネスモデル部門において全館空調システム「スマートブリーズ・エース」（2018年販売開始）で「省エネルギーセンター会長賞」を共同受賞したことをお知らせいたします。

全館空調システムは、1台の機器で建物全体を暖冷房することで、年間を通じて快適な室内空間を実現する空調システムです。また、熱交換換気・高性能フィルターによる24時間換気により、家全体をいつでもきれいな空気で満たすことで、コロナ禍の新しい生活様式においても健康的な暮らしをサポートします。

受賞製品「スマートブリーズ・エース」は、住む人のライフスタイルの変化に合わせた「フレキシブルな空調利用」、ならびに近年の脱炭素社会に向けたさらなる「省エネ化」を両立するため、次の4つの技術を新たに搭載しました。さらに建物本体の「高断熱化」による空調負荷の低減とあわせ、従来比約50%の省エネ化を達成しています。

- ①「個別風量制御」 部屋ごとに風量をコントロールし、快適性と省エネ性を両立
- ②「省エネ運転制御」 在宅時は室内の温湿度に応じて自動で温度を調整、外出時はセーブ運転で省エネ化
- ③「季節協調モード」 HEMS^{※2}と連動し、気温予報をもとに自動で暖冷房を送風運転に切り替え、省エネ化
- ④「除湿運転効率化」 従来の再熱除湿^{※3}に冷房除湿^{※4}を組み合わせ、除湿運転の省エネ性を向上

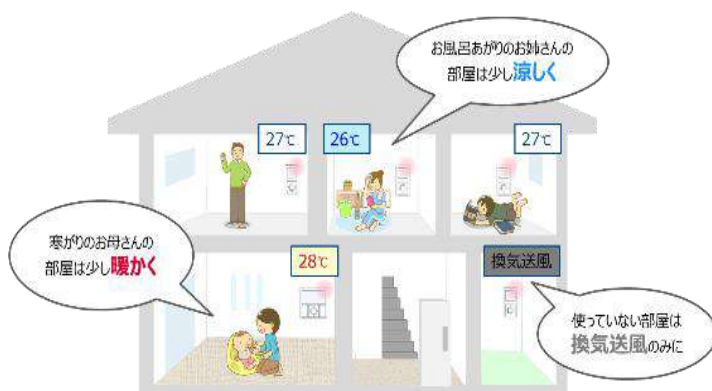
※1. 当社2015年従来機 暖冷房一次消費エネルギー量比（当社シミュレーションによる）

※2. HEMSとは「Home Energy Management System（ホーム エネルギー マネジメント システム）」の略です。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」し、家電機器を「自動制御」します。

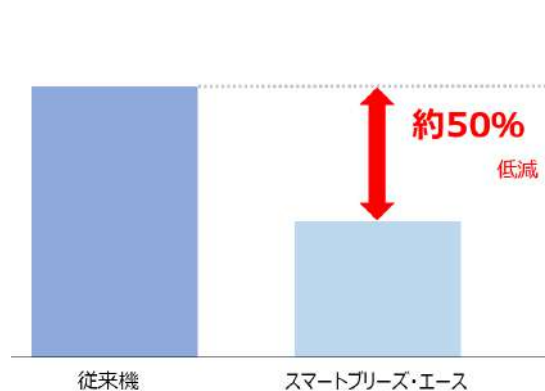
※3. 「再熱除湿」は、冷房で除湿した空気と暖房で暖めた空気を混ぜ合わせることで温度を下げずに湿度を下げます。

※4. 「冷房除湿」は微弱な冷房運転によって湿度を下げます。

フレキシブルな空調利用の例 【個別風量制御イメージ】



省エネ化率（暖冷房一次消費エネルギー量比）



～全館空調システム「スマートブリーズ・エース」1台6役の基本性能～

<暖房・冷房>

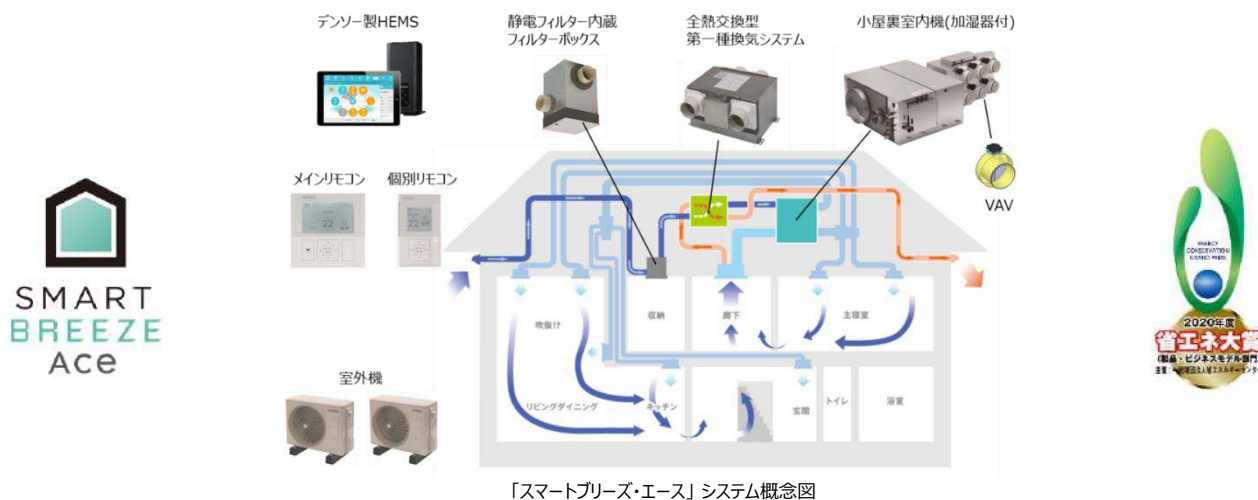
家中をいつでもどこでもばらつきのない快適な温度に保ちます。居室だけでなく、脱衣室や廊下、トイレまで、温度ムラをなくし、人が急な温度差を感じることで生じるヒートショックを未然に予防。身体への負担を大幅に軽減します。

<換気・空気清浄>

熱交換換気システムにより、窓を開けずに効率良く家じゅうをきれいな空気で満たします。高性能フィルターが花粉・ホコリを90%カット。健康被害が心配されているPM2.5の流入も抑制します。

<加湿・除湿>

加湿・除湿機能により、24時間家じゅうの湿度もコントロール。梅雨の季節でも家じゅうをさわやかな空気で満たします。乾燥しがちな冬場には独自の加湿機能で過乾燥を緩和し、湿度が高まると生存率が低くなるインフルエンザウイルスなどにも有効とされています。



【三井不動産グループのSDGsへの貢献について】

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。三井不動産グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

*なお、本リリースの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）における4つの目標に貢献しています。

- 目標 3 すべての人に健康と福祉を
- 目標 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 目標 11 住み続けられるまちづくりを
- 目標 13 気候変動に具体的な対策を



【省エネ大賞とは】（一般財団法人省エネルギーセンター様 HP <https://www.eccj.or.jp/index.html> より）

事業者や事業場等において実施した他者の模範となる優れた省エネ取り組みや、省エネルギー性に優れた製品並びにビジネスモデルを表彰するもの。この表彰事業では、公開の場での審査発表会や受賞者発表会、さらには全応募事例集や受賞製品概要集などを通じ、情報発信や広報を行うことにより、わが国全体の省エネ意識の拡大、省エネ製品の普及などによる省エネ型社会の構築に寄与することを目的としている。

本件に関するお問い合わせ先

三井ホーム株式会社 広報部 広報グループ: 03-3346-4649